



JR東労組第47回定期中央委員会 成功裡に終了!



2月9日、本部会議室において「第47回定期中央委員会」が開催されました。Web会議システムで東北及び上信越の地本と結び、感染症対策を万全に行いながら開催されました。

佐藤中央執行委員長の主催者挨拶では、東京・八王子地本の再建を通じて組合員と向き合うことの大切さと「自分にとっての東労組」を明確にし、JR東労組の必要性を明確にすることが組織強化・拡大に大切であることが提起されました。

質疑では12名の委員から発言があり、地本再建の実践や、21春闘でベアと手当の違いを学んだこと、職場議論、不当労働行為に抗するたたかい、政策提言を実現してきた実践が語られました。

加藤書記長の総括答弁では、労働者への利益還元がほとんど行われてこなかったことを踏まえての連合の2%程度の賃上げ方針が導き出され、それに基づく総連春闘をJR本体でなくグループ会社の仲間の春闘妥結までたたかい抜くことと、駆け込み寺としての東労組の確立、急速に進むJR東日本の構造改革の中で組合員の雇用と利益を守り、組織強化・拡大に取り組むことを提起し、満場一致で確認されました。

《スローガン》

「新生JR東労組運動宣言」を掲げて1年!

厳しい情勢下のもと、組合員の雇用と利益を守るために、「雇用と職場を守るためのJR東労組緊急提言」の実践をさらに強化し、一人ひとりの実践によって、JR東労組を再確立しよう!



力強い発言をする
砂塚委員



右《横浜地本》木村議長
左《東京地本》黒田議長



《21春闘方針を決定!》

- ① JR総連春闘として「雇用確保」「定昇確保（昇給係数4）」「ベア要求」を掲げ、一律ベア6000円（定期昇給を含まない）の引き上げを要求する
- ② JR総連方針を踏まえ、エルダー組合員の基本賃金6000円の引き上げ、グリーンスタッフ組合員の基本賃金6000円の引き上げを要求する
- ③ 定期昇給（昇給係数4）の実施を要求する
- ④ 退職手当の算出基礎となる「第二基本給制度」の凍結を要求する
- ⑤ 65歳定年制を要求する

《議事》

- ・元高崎地本役員等に関する制裁審査委員会設置について
- ・第39回定期大会以降の経過と当面の取り組みについて
- ・労働協約・協定の締結承認について
- ・2021年度暫定予算(案)について

全会一致で可決!!

**雇用と職場を守るためJR東労組が必要!
全組合員で組織強化・拡大を実現しよう!**